

千葉県北西部 渋滞対策 ～実施中の取組～

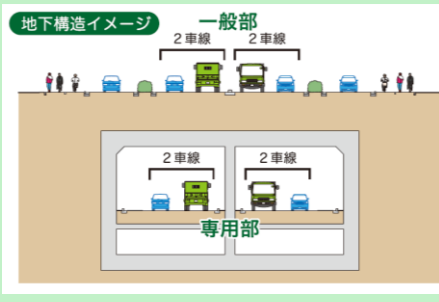
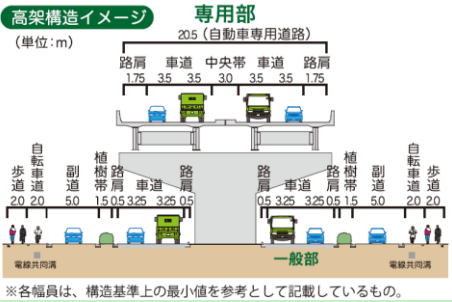
県では、千葉県総合計画(R7.10策定)において、人口が集中し、渋滞が深刻化している県北西部の慢性的な交通渋滞を解消する道路整備を最重要と位置づけ、下記の取組を強力に推進。

- 高速道路の空白地帯のアクセス強化するため、**国道464号 北千葉道路**などの高規格道路を推進。
- 交通渋滞の緩和や安全性を向上させるため、**国道296号**や**船橋我孫子線**などで道路改良事業を面的に実施。
- 安全で快適な通行空間を確保するとともに都市災害などを防止するため、**国道14号**などで**無電柱化**事業を実施。

国道464号 北千葉道路

主な取組 1

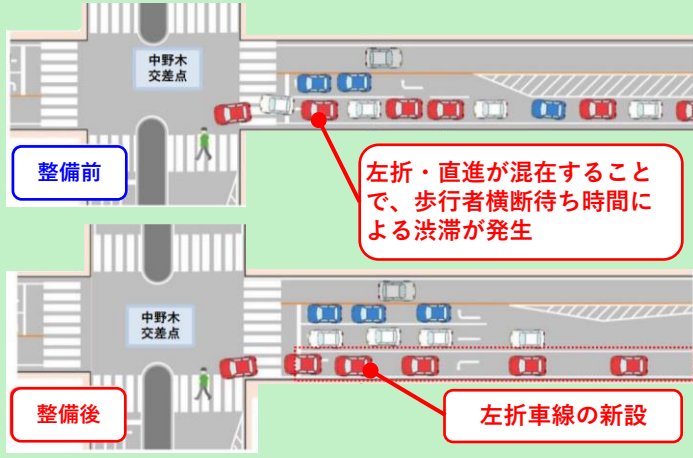
・北千葉道路を新設することで、周辺道路の渋滞が緩和され、交通事故の削減や地域産業の支援を期待。



国道296号 前原西工区

主な取組 2

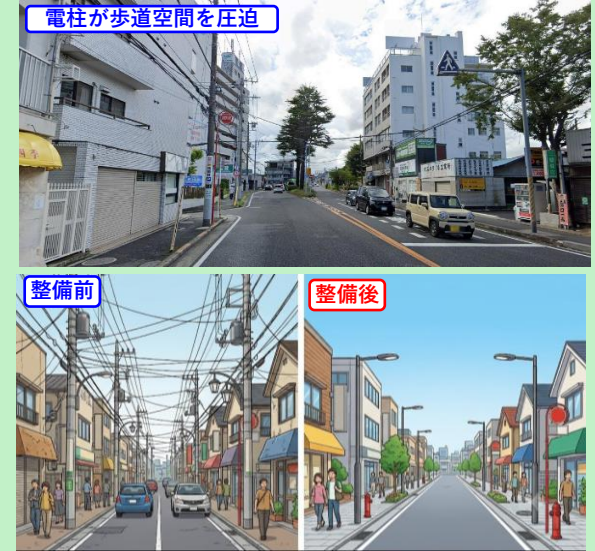
・国道296号の左折専用レーンの設置により左折車両を分離し交通の円滑化を期待。



国道14号 無電柱化

主な取組 3

・無電柱化をすることで、安全で快適な通行空間を確保するとともに、台風や地震時に電柱が倒壊する危険がなくなる等の効果を期待



船橋我孫子線 初富交差点 改良

主な取組 4

・船橋我孫子線の右折レーンの設置や歩道の延伸などにより交通の円滑化。



国道357号 塩浜立体

主な取組 5

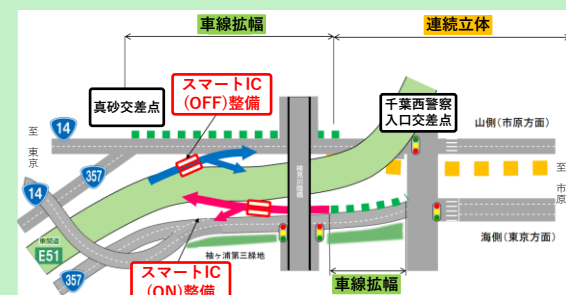
・立体交差化することで、交差点を通過する交通が立体部へ転換し、交差点の渋滞が緩和され、安全性の向上などが期待。



国道357号 検見川立体 検見川・真砂スマートIC

主な取組 6

・東関道に新規ICを設置することで、首都圏から千葉市中心部や湾岸部からのアクセス性や利便性の向上などが期待。



凡 例

- : 国・県 改築系事業箇所(現道拡幅・バイパス)
- : 県 維持系事業箇所(交差点改良・歩道整備)